

第2学年 保健体育科学習指導案 (例：中学校)

\*球技を第1学年と第2学年で  
取り上げる例を示す。

平成〇〇年△△月□□日 ◇曜日 ▽校時  
第2学年△・◇組(男子〇〇名、女子△△名)  
場所 ○ ○ ○ ○  
指導者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 球技(ネット型：バレーボール)

※「領域」「型：種目」または「種目」を記載する。

2 単元の目標 (第1学年及び第2学年の第2学年分)

\*( )は第1学年で取り上げた内容

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。(技能)  
・ ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。
- (2) 球技に積極的に取り組むとともに、(フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、)作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度)
- (3) (球技の特性や成り立ち、)技術の名称や行い方、(関連して高まる体力)などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

※学習指導要領を踏まえ、本単元で生徒に身に付けさせたい力を明確にする。

※単元の評価規準との整合を図る。

※「学習指導要領の内容」から語尾を「～できるようにする」に変えて記載する。

※「技能」、「態度」、「知識、思考・判断」の順で表示する。

3 運動の一般的特性

その領域や内容の運動の特性を明記する。  
(学習指導要領解説P83～85参考)

4 生徒の実態

(1) 運動の特性に触れる楽しさ体験状況

生徒のこれまでの運動経験や日常的な運動活動について、この単元にかかわる内容を明記する。

(2) 「態度」「知識、思考・判断」に関する学習体験状況

これまでの体育学習において、「態度」、「知識、思考・判断」の内容はどのような指導が行われ、学習を進めるに当たって必要な力がどの程度身に付いているかを明記する。

(3) 技能(体づくりは「運動」)の習得状況

これまでの体験において「技能(運動)」の内容はどの程度身に付いているのか。また、体験にかかわる具体的な人数等を明記する。(保健体育学習、部活動等)

\*2学年ごとに指導内容が示されているので、当該学年の系統性を踏まえた記述を加える。  
(第2学年であれば、第1学年での指導及び習得状況を記述する。)

(4) 体力の状況

新体力テストのデータから単元とかかわる体力や学校として伸ばしたい体力の状況について明記する。

(5) 生徒の運動に対する思いや願い

この単元を学習するに当たって、生徒がどんな力(動き)を身に付けたいと思っているのかを明記する。

5 学習を進めるに当たって

上記の生徒の実態から、教師がどのような内容に力点を置き指導していくかを具体的に明記する。その際に、単元の目標を具現化するための教師の意図的・計画的な指導が明記されなければならない。また、体力向上に向けた具体的な取組についても明記する。

6 単元の評価規準 (例)

※「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能」「知識・理解」の順で表示する。  
 ※「●」は当該学年、「・」は当該学年以外を表示する。

「単元の評価規準」については、「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校保健体育】」平成23年11月<国立教育政策研究所 教育課程研究センター 作成>のP27の評価規準の設定例を参考に、当該学年とそれ以外を各学校で判断して記入する。

「運動への関心・意欲・態度」、「運動についての思考・判断」、「運動についての知識・理解」については、ゴール型、ベースボール型の学習と共通で2年間に分けて指導するようにあらかじめ設定する。

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・ フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>・ 分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>● 作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>● 仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・ 健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>・ 自己やチームの課題を見付けている。</li> <li>● 提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>● 仲間と協力する場面で分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</li> <li>● 学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「運動の技能」については、学習指導要領解説の例示を参考に、具体的な動きの例を第1学年と第2学年に分けて取り上げる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 球技の特性や成り立ちについて学習した具体例を挙げている。</li> <li>● 技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>● 試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>
学 習 活 動 に 即 した 評 価 規 準	<ol style="list-style-type: none"> <li>① (勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにすることに) 積極的に取り組もうとしている。</li> <li>② 自己やチームの課題解決に向けて自らの考えを述べるなど積極的に話し合いに参加しようとしている。</li> <li>③ 練習の際に、球出しなどの補助をするなど、仲間の学習を援助しようとしている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>② 仲間と協力する場面で分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</li> <li>③ 学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① サービスでは、ボールの中心付近をとらえることができる。</li> <li>② ボールを返す方向に腕や手のひらの面を向けて打つことができる。</li> <li>③ 相手側のコートに空いた場所にボールを返すことができる。</li> <li>④ ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① バレーボールの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>② 試合のルール審判や運営の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ol>

※学習活動に即した評価規準については、単元の評価規準をより具体化した内容を表記する。  
 (各学校で学校や生徒の実態等を加えて作成)

7 単元の学習計画及び評価計画

段階	時間	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価規準			
				関 意 態	思 判	技 能	知 理
はじめ	1	オリエンテーションを含め、この単元の学習計画を作成する。また、中学校や前年度の復習を行い、実態を把握する。	学習計画を作成するために必要な指導を明記する。特に、本単元における学習内容、課題設定の仕方・課題解決に向けた練習方法の工夫等については十分指導が必要である。				
	2	重点項目（例） ・積極的に取り組む意義 ・健康・安全の留意点	分担した役割を果たす意義				
なか	2	・運動の特性の理解 ・チーム編成等	・単元目標の確認 ・学習の進め方、学習カードの使い方の確認 ・生徒の実態把握				
	3	ねらい1：身に付けさせたい指導内容や具体的な「ゲームの様相」等を明記する。					①
	4	重点項目（例） 返球方向への腕や手の面づくり 運動の行い方のポイントを見付けること	仲間の学習を援助する意義	②		②	
	5	ねらい1を実現するための学習内容及び学習活動について明記する。	ねらいの実現に向けた学習が行われているかを評価し、一斉・グループ指導や個別指導等において予想される留意点を明記する。				
	5	学習内容 ・学習活動に即した評価規準との整合を図る。					
3	6 本時			③			①
9	7	ねらい2：身に付けさせたい指導内容や具体的な「ゲームの様相」等を明記する。					①
	8	重点項目（例） サービス 空いた場所への打ち返 ボールや相手への正対 ・運動の行い方のポイントを見付けること				④	
		ねらい2を実現するための学習内容及び学習活動について明記する。	ねらいの実現に向けた学習が行われているかを評価し、一斉・グループ指導や個別指導等において予想される留意点を明記する。				

なか 3 〜 9	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>学習内容</b>          ・学習活動に即した評価規準との整合を図る。       </div>					③	②
まとめ	10	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ねらい3：身に付けさせたい指導内容や具体的な「ゲームの様相」等を明記する。         </div>					②	①
	11	<div style="border: 2px dotted black; padding: 5px;"> <b>重点項目（例）</b>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <span>話し合いに参加する意義</span> <span>練習方法の選択</span> <span>試合の行い方</span> </div>           安全上の留意点を当てはめる意義         </div>						
	12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本単元の学習によってどんな力が身に付いたかを具体的に確認できる指導内容及び学習活動を明記する。         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本単元の学習によってどんな力が身に付いたかを具体的に確認できる指導内容において予想される留意点を明記する。         </div>	①			③	

※生徒の実態に応じて、どのような段階で意図的・計画的に指導していけば、単元の目標を実現することができるかを予測したものにしなければならない。また、「学習を進めるに当たって」の中で記述した体力向上の内容についても位置付ける。  
 ※単元の学習計画の中に評価計画を入れる。

□ 「評価機会」等設定の留意点(効率的・効率的評価)

- ・ 1時間の授業で評価項目は1つか2つ
- ・ 観察評価は、原則として1時間に1観点

評価の観点	評価時期	主な評価方法
運動への関心・意欲・態度	指導日の後、一定期間	観察・学習ノート
運動についての思考・判断	指導した日	学習ノート・発言・定期考査
運動の技能	指導日の後、一定期間	観察・学習ノート
運動についての知識・理解	指導した日	学習ノート・発言・定期考査

8 本時の学習（6 / 12時間）

(1) 本時の目標

- ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができるようにする。(技能)
- バレーボールの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げることができるようにする。(知識)

(2) 本時の学習評価

- 練習の際に、球出しなどの補助をするなど、仲間の学習を援助しようとしている。(関心・意欲・態度③)
- バレーボールの技術の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。(知識・理解①)

※学習活動に即した評価規準との整合を図る。

※「~できるようにする」に変えて記載する。

※2つ以上ある場合は、主とした目標をゴシック体で表記する。

9 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	○：評価項目【Aの例】(評価方法)	「努力を要する」状況と判断される生徒の手立て
はじめ (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本時の目標を実現するために、どのような学習内容や学習活動を仕組んでいくのかを具体的に明記する。            ・学習活動に即した評価規準との整合を図る。         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本時の目標を実現するために、どのような指導を行うかを具体的に明記する。            ・学習内容や学習活動に応じた留意点を明記する。         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本時の評価項目に対して、具体的にどのような姿を評価するのか、またどんな方法で評価するのかを具体的に明記する。         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           評価の視点で「C」と判断しなければならない生徒が出てきたときの具体的な手立てを明記する。         </div>

	<p>1 集合、整列、挨拶、出欠確認、健康観察</p> <p>2 本時の学習内容と課題の確認</p> <p style="text-align: center;">学習内容の明記</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードをもとに本時の学習内容と課題を確認させ、学習意欲をもたせる。</li> </ul>		
なか (35)	<p>3 ボールや相手に正対できることを身に付けるための練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールや相手に正対したり、両腕の面を合わせる動きができるよう、ポイントを理解して、動きを明確にさせる。</li> </ul>	<p>○練習の際に、球出しなどの補助をするなど、仲間の学習を援助しようとしている。 (観察)</p>	<p>自己観察や他者観察により、技術のポイントを再確認させたり、仲のよいメンバーから行い方等を具体的に確認するなど、理解を促す。</p>
まとめ (10)	<p>4 課題を明確にしたゲーム</p> <p>5 整理運動</p> <p>6 本時の反省、次時の確認</p> <p>7 整列、挨拶 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習した技能等を生かしたゲームを行っているか意識させ活動させる。</li> <li>課題が達成されたか確認させ、的確な次時の課題を設定させる。等</li> </ul>	<p>○バレーボールの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 (観察・学習カード)</p>	

学習カードの中に、その時間の評価項目に関する内容を準備しておく。できれば、本時のねらいに合わせて、毎時間学習カードが工夫されていることが望ましい。

※本時の目標と評価項目の整合を図らなければ、意図的・計画的な学習とはいえない。また、体力向上についても、「学習を進めるに当たって」「単元の学習計画」との整合を図りながら明記する。